

2006 年度

科目名 言語学特殊講義	対象学科・学年 文学部日文4回生	担当者 塩田 勝彦
授業テーマ 社会言語学と言語類型論		
授業の概要と目標 言語学の基礎に基づき、社会と言語の関係を考える社会言語学と、人間の言語における普遍性を探る言語類型論を講義する。基本的には、日本語教師を目指す人が知っておかなければならないような基礎的な知識の獲得を目指す。時には具体的な事例を深く掘り下げることも予定している。		
評価方法 出席回数とレポートで評価する。		
テキスト 特に指定しない。必要に応じて印刷物を配布します。	著者	出版社
参考書 テーマによって異なるので、そのつど教室で指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 変更の可能性があります。 1. 社会言語学とは 2. 社会言語学の基礎概念、用語解説 3. 言語変種1 ― 地域方言 4. 地域方言の音韻とアクセント 5. 地域方言の語彙の分布パターン 6. 言語変種2 ― 社会方言 7. ことばの男女差 8. ことばの年齢差 9. ことばの階層差、集団語 10. 言語行動 ― ことばの使い分け 11. 言語変化 ― ことばの「乱れ」と変化 12. 言語接触と方言接触 13. 多言語社会とことばをめぐる紛争 14. ビジンとクレオール1 ― 概説 15. ビジンとクレオール2 ― ナイジェリア・ビジンの例 16. 言語と文化 17. 言語政策1 ― 公用語と国家語 18. 言語政策2 ― 少数民族と言語問題 19. 言語政策3 ― アメリカの公用語問題 20. 共通語について1 ― 英語の発展 21. 共通語について2 ― インドにおける共通語 22. 共通語について3 ― ナイジェリアにおける共通語 23. 言語類型論1 ― 古典的類型論 24. 言語類型論2 ― 語順の類型 25. 言語類型論3 ― 関係節の類型 26. 言語類型論4 ― 関係節化と名詞句の階層 27. 言語類型論5 ― 類型論から見た日本語の特徴 28. 対照言語学とは 29. 日本語教育と対照言語学 30. 世界の言語と日本語		